

プログラムNo.	51					
プログラム概要						
受入先名称	日野ハーモニー株式会社					
プログラム名	現場体験で学ぶ、障がい者がはたらくということ					
活動の目標	自分なりのテーマを持って障がい者雇用の現場を体験することで障がい者雇用がどういったものかを肌で感じてもらいます					
内容	障がい者雇用を行っている日野ハーモニー株式会社で、体験を中心に、障がい者雇用の現場を感じることができます。普段、障害を持ったスタッフの方々がやっている仕事を体験、見学することで、障がい者雇用の工夫や、現場の様子を学びます。具体的には、名刺作成や清掃業務、お菓子の箱詰め作業を行います。名刺作成では日野ハーモニー独自のソフトを使い、障がい者雇用にあたっての工夫を体験することができます。清掃業務では障害を持つスタッフの方々と作業をすることで、普段の労働を体験することができます。また、お菓子の箱詰めでも、障害を持ったスタッフが普段どの程度の作業をしているのかといったことを体験することができます。長い時間を取って普段の仕事そのものをしっかりと学ぶことは難しいですが、実際に作業をすることで、様々な発見があると思います。					
備考	持ち物:お弁当 飲み物 上履き(スニーカー類) タオル 手提げ袋 帽子(野球帽型) ※ 手提げ袋は、体験時に上履きや筆記用具を入れるためのもの 費用:交通費 服装:体験活動に適した服装(長ズボン) ※ダメージジーンズやラメ、レース等の入った装飾の多い服装は不可。また、透ける素材や襟ぐりの大きく開いたもの、しゃがんだ時に腰や下着が見える服装、アクセサリ、長い爪やネイルのしてある爪、ヒール靴も不可。着替えをする時間は取りません。初めから作業に適した服装で来てください。					
このプログラムのおすすめポイント	障がい者雇用という、普段体験することのできない現場に実際に行き、体験作業を行うことで、様々な発見や学びを得られます。					
リーダーから参加学生にむけて一言！	1Day for Othersという、自分が相手に「何をあげられるか」と考えがちですが、このプログラムは私たちが「体験」「学ぶ」というものです。自分が「何かをあげる」の精神ではなく、自分なりのテーマを持ち「学ばせていただく」という精神で、より多くの収穫を得ましょう！					
実施日程・募集人数						
※事前学習、学生履合せを除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月10日	火曜日	4人	1人	5人

プログラムNo.	52					
プログラム概要						
受入先名称	株式会社 資生堂					
プログラム名	CSR活動を通して化粧の力を実感しよう					
活動の目標	資生堂が行うCSR活動を知り、化粧は人々を元気にさせる力を持つことを実感する					
内容	資生堂では、本業を生かし企業の社会的責任(CSR)活動の一つとして、アザや白斑などで肌深い悩みを持つ方を対象としたメークアップ活動が行われています。最適な商品と美容法を提供することで肌も心も一層美しくなり、肌悩みの持つ方のQOL(Quality of Life=生活の質)向上をサポートすることを目指しています。今回は資生堂ライフオリティベニューセンターのCSR活動についての紹介をしていただき、そのあと実際に化粧でアザやキズを隠す体験をさせていただきます。 [雨天時のプログラム内容] 雨天決行のため変更点なし					
備考	[当日の持ち物、服装] 軽装過ぎない汚れてもいいような服装。(スウェットやジャージは不可) [昼食について] 事前に各自で済ませておく [参加の注意点] 施設内の写真撮影不可。(メークアップ実施中の学生同士の写真撮影は本人の許可があれば可能)					
このプログラムのおすすめポイント	肌深い悩みを持つ方でも化粧の力によって心を豊かにする活動が体験できます。					
リーダーから参加学生にむけて一言！	化粧が持つ力を一緒に体験しましょう。					
実施日程・募集人数						
※事前学習、学生履合せを除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月16日	月曜日	17人	1人	18人

プログラムNo.	53					
プログラム概要						
受入先名称	株式会社 エイチ・アイ・エス					
プログラム名	テーマ別につくるスタディツアーのプランニングとプレゼン～国内・国外における様々な視点から旅を創ろう～					
活動の目標	旅のプランニングを通じて、未来における持続可能な社会を築いていくことの意義を学ぶ。					
内容	スタディツアーのプランニングとそのプレゼンテーションを行っていただきます。学生が決めたテーマに沿って複数チームに分かれ、チームビルディングおよびプランニングを事前に準備していただきます。当日はプレゼン資料の作成と発表順を決め、各グループ毎に発表・評価を行います。ツアープランニング体験と実社会で働く社員の方の前でプレゼンを行う機会となります。プログラム全般を通じて、ツアーが社会に与える影響や社会貢献のあり方を学びます。					
備考	[当日の持ち物、服装] 服装は自由です。筆記用具、飲み物持参。 [昼食について] なし。(事前に済ませて来てください。) [参加の注意点] 事前学習への参加が必須となります。					
このプログラムのおすすめポイント	旅が好き！コミュニティの幅を広げたい！学生ならではの自由な発想で一からツアーのプラン作成ができます。					
リーダーから参加学生にむけて一言！	「学年・学科を越えた交流をしたい」あるいは「ツアーの企画に興味がある」という方の参加をお待ちしております。					
実施日程・募集人数						
※事前学習、学生履合せを除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月7日	土曜日	60人	2人	62人

プログラムNo.	54					
プログラム概要						
受入先名称	株式会社 大川印刷					
プログラム名	みんなでつなげようCSRの和 ～『共有価値創造』					
活動の目標	株式会社大川印刷の地域企業としてのCSRの取り組みについて学ぶことで、地域や周りの人に対して自分がどんなことが出来るのかを考える。					
内容	地域や地元とのつながりを会社全体で大切にしている株式会社大川印刷さんを訪問し、大川社長から「印刷業者として」また「横浜の地域企業として」の大川印刷のCSR活動についてお話をお聞きし、大川印刷の「共有価値創造」の意味について学びます。さらに、工場見学の後グループワークを行ない、自分たちが地域、他者、家族などに何をすることが出来るかを考えます。					
備考	[当日の持ち物、服装] 筆記用具、メモ [昼食について] 各自で済ませて来てください。 [参加の注意点]					
このプログラムのおすすめポイント	CSRとは何かという基本的なお話から、さまざまなCSRの意味や役割を知ることが出来ます！また、グループワークで自分たちが地域、他者、家族などに何をすることが出来るかを考えます。					
リーダーから参加学生にむけて一言！	昨年、何気なくこのプログラムに参加しましたが、さまざまなCSR活動があるを知り、自分の意識や意欲次第で新たな発見を得られるチャンスがあることを学びました。また、どんなに小さなことでも常に周りの人にしてあげることは無いか考えて生活するようになりました。参加して下さるみなさんも、ぜひこの機会に自分を見直しどんなことが出来るのか一緒に考えてみましょう！					
実施日程・募集人数						
※事前学習、学生履合せを除く	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月18日	水曜日	14人	1人	15人

プログラムNo.	55			
プログラム概要				
受入先名称	NEC(日本電気株式会社)			
プログラム名	イノベーションで笑顔あふれる社会に ～NECの社会貢献活動を学ぼう！！～			
活動の目標	世界の情報社会を担うNECのCSRを学びます。			
内容	NECが行っているCSRの活動紹介。品川にあるイノベーションワールドの見学や、社会貢献室の方が行ってくださる講義などを通し、NECのCSRを学びます。			
備考	[当日の持ち物、服装] 筆記用具・メモ帳。服装はスーツ着用が好ましいですが、なければ派手でない服装をお願いします。 [昼食について] 午後からの開催なので、各自で昼食を済ませてきてください。 [参加の注意点]			
このプログラムのおすすめポイント	大企業の一つであるNECが行っているCSRについて学ぶことができる。			
リーダーから参加学生にむけて一言！	1Day for Othersという、自分が相手に「何をあげられるか」と考えがちですが、このプログラムは私たちが「体験」「学ぶ」というものです。自分が「何かしてあげる」の精神ではなく、自分なりのテーマを持ち「学ばせていただく」という精神で、より多くの収穫を得ましょう！			
実施日程・募集人数				
参加回数 ※事前学習、学生観合せを除外	全 1 回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月25日	水曜日	19人 1人 20人

プログラムNo.	56			
プログラム概要				
受入先名称	アイエスエフネットグループ			
プログラム名	～就労困難な人は沢山いる～ 社長から直接聞く、就労支援			
活動の目標	就労が困難な人々をどうやって就労につなげるか、セミナーを聞き、現場を見て、ランチ会で振り返ろう！			
内容	社長による障がい者や就労困難者の雇用に関わるセミナー、障がい者が働く現場見学、振り返りの会+ランチ会(障がい者の方が作ったお弁当) 2000年創業、今期15期目を迎えるITベンチャーが障がい者・就労困難者の雇用を。グループ3,000名の成長企業に、障がい者が300名以上在籍。 雇用を通じて社会に貢献するビジネスモデルとは？日経新聞やNHKなど各種メディアにも取り上げられる雇用に関する考え方、経営手法について学ぶことができます。 ※卒業生も複数活躍している企業です。 [雨天時のプログラム内容] 雨天決行、内容に変更なし			
備考	[当日の持ち物、服装] 筆記用具。私服で可。 [昼食について] お弁当配布(費用は自己負担。一人500円当日回収) [参加の注意点]			
このプログラムのおすすめポイント	社長に会って直接セミナーでお話が聞ける！ その後は現場を実際に見学することができる！ 話を聞いて、その現場を見て、最後に振り返る、短い時間でとても内容の濃い体験となるはず！ ランチ会では学生同士や企業の方々と楽しく過ごし、仲良くなりましょう！			
リーダーから参加学生にむけて一言！	就労困難者と聞いて自分には関係無いと思いますか？ そんなことはありません、この時代誰もが就労困難者となる可能性があります。 そんな人々を一つの企業グループがどのように支えているのか。企業の理念。どうやって成長してきたのか。 皆で聞いて・見て、皆で振り返って理解を深めていきましょう！			
実施日程・募集人数				
参加回数 ※事前学習、学生観合せを除外	全 1 回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月12日	木曜日	20人 1人 21人

プログラムNo.	57			
プログラム概要				
受入先名称	千代田化工建設株式会社			
プログラム名	千代田化工建設で自分の可能性を広げよう～企業と学生の考えるDo for Others～			
活動の目標	千代田化工建設株式会社で実際に企業が行っている事業、CSR活動を見聞きすることで、企業のDo for Othersの精神とは何かを理解する。その後、学生がこれからの学生生活の中でどのようなことをDo for Othersの精神として社会(自分の身の回り、社会全体)に還元できるのかをプレゼンテーションをしたり、企業の方とのディスカッション、交流会を通じて深める。			
内容	午前:千代田グループのCSRの紹介、子安オフィス・リサーチパーク「大規模水素貯蔵・輸送システム」実証プラントの説明、見学、Table For Two(TFT)メニュー体験 ※TFTメニューとは、対象のメニューを購入することで、1食につき20円が開発途上国の子どもの支援につながるというメニューです。 午後:CSR推進スタッフからのボランティア活動説明、明学プレゼンテーション、OBOGとの交流、ディスカッション「私とDo for Othersとは？」 [雨天時のプログラム内容] 特に晴天時と変更なし			
備考	[当日の持ち物、服装] 昼食代(480円程度)、服装は動きやすいTPOを考えた服装 [昼食について] 千代田の子安オフィス社員食堂でTFTメニュー体験。参加者は昼食代持参。 [参加の注意点] 事前に千代田化工建設株式会社のHPをチェックしておくことと良い。			
このプログラムのおすすめポイント	千代田化工建設株式会社では新エネルギーの開発も行っています。企業がどのようなことに留意して事業を行っているのか、CSR活動とは何かを知るきっかけになるプログラムとなっています。明学のOBOGの方も当日は参加していただけます。実際に企業について深く考えたい、知りたい！という学生さん！これを機に好奇心をぶつけてみましょう。			
リーダーから参加学生にむけて一言！	1日だけで何かをやり遂げよう、何か全てを知るといことは困難ですが、これからの自分の興味関心を広げてくれるきっかけとなるプログラム内容となっています。プログラムを通して出会った人や知ったことを忘れず、これからの自分のキャリアに繋げていけたらと思います。当日は思いっきり積極的に活動していきましょう。			
実施日程・募集人数				
参加回数 ※事前学習、学生観合せを除外	全 1 回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月18日	水曜日	19人 1人 20人

プログラムNo.	58			
プログラム概要				
受入先名称	石井造園 株式会社			
プログラム名	Give & Take!! ～いざCSRの世界へ～			
活動の目標	CSR報告会に携わって企業と地域の絆から、Do for Othersの精神を発見しよう。			
内容	CSRとは企業が利益を追求するだけでなく、企業が社会へ与える影響に責任をもち、あらゆる関係者からの要求に対して適切な意思決定をする活動のことです。 石井造園は「幸せを共有する企業」を経営理念とし、地域との連携を重視した活動を行っています。 事前学習は石井社長よりCSRについての講話と当日報告会で使用するコースター磨きを行います。 当日はCSR(Corporate Social Responsibility)報告会の受付や会場の設置などのお手伝いをします。また、事前学習で学んだことについて発表をします。 [雨天時のプログラム内容]			
備考	[当日の持ち物、服装] 大学生らしい服装 [昼食について] 昼食はお弁当が出ます。 [参加の注意点]			
このプログラムのおすすめポイント	多くの学生は必ずと言っていいほど、将来、企業に属することになるでしょう。その企業をCSRという新しい活動から探ることができます。「CSRって何だろう?」というCSRに少しでも興味を持った明学学生にぜひとも参加してほしいです。			
リーダーから参加学生にむけて一言！	大学生という社会人の一歩手前に企業のおこなっている社会への貢献活動を覗きに行ってみましょう。			
実施日程・募集人数				
参加回数 ※事前学習、学生観合せを除外	全 1 回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月21日	土曜日	4人 2人 6人

プログラムNo.	59	プログラム概要				
受入先名称	ソニーマーケティング株式会社					
プログラム名	社会貢献につながる商品・サービスを企画しよう。@SONY					
活動の目標	【世界を舞台にするSONYの視点で社会貢献について考える。】 社会貢献は各企業によってさまざまな形で行われています。しかし私は昨年このプログラムに参加し、「消費者に商品を提供する」ということ自体が、企業の一番の社会貢献であるのではないかと感じました。今年のプログラムでは、学生目線でのSONYの商品・サービスを企画し、提案します。商品企画を通して、社会貢献について考える1Dayをぜひ一緒に過ごしましょう。					
内容	参加学生同士が話し合い、社会貢献につながるSONYの商品・サービスを企画し、当日にSONY本社で発表します。 企画する商品やサービスは、「誰にとって(=対象者)」、「どのように役立つか(=目的)」といったテーマを設定し、考案します。 また、その社会貢献が持続可能なものとして、「商品として売れるのか」「本当にニーズに合ったものなのか」といったビジネスとしての視点も検討したいと思います。 【実際にあるSONYの商品例】・商品…手元でテレビの音量を大きくして聴けるリモコン 企業訪問ではショールームを見学し、最先端のIT技術にふれます。またSONYの社員の方から、CSR活動の内容、SONYのビジネスに対しての想いなどの話をうかがいます。					
備考	〔当日の持ち物、服装〕 私服での参加可。ただし、カジュアル過ぎない服装をお願いします。 〔昼食について〕 なし 〔参加の注意点〕					
このプログラムのおすすめポイント	SONYの本社に訪問し、特別なショールームを見学させていただきます。 またSONYの社員の方から実際にお話を聞くことができる、とても貴重な1Dayです！					
リーダーから参加学生にむけて一言！	参加学生と一緒に、社会貢献につながる商品・サービスを、SONYに企画・提案しましょう！必ず、得られることがあると思います☆					
実施日程・募集人数						
※参加回数 ※事前学習、学生顔合せを を除外	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月5日	木曜日	30人	1人	31人

プログラムNo.	60	プログラム概要				
受入先名称	株式会社イオンフォレスト(ザ・ボディショップ)					
プログラム名	～手と手から生まれるつながり～本格ハンドマッサージ体験					
活動の目標	ハンドマッサージを習得して、老人ホームのデイケアの利用者の方々に癒やしを与え、つながりを持つ。					
内容	まず、ザ・ボディショップに関するお話を拝聴し、その後、ハンドマッサージのレクチャーを受けます。新商品を含め、たくさんのザ・ボディショップの商品の中から好きな香りを使って、本格的なハンドマッサージの方法を学ぶことが出来ます。そして、各自昼食を取った後、老人ホームのデイケアの利用者の方々に対して、習得したハンドマッサージを実践します。デイケアに通っている方々は元気な方が多く、楽しく会話をし、つながりを持ちながら、ハンドマッサージを実践することが出来ます。 〔雨天時のプログラム内容〕 雨天決行で行います。					
備考	〔当日の持ち物、服装〕 タオル 〔昼食について〕 各自持参してください。 〔参加の注意点〕 特にありません。					
このプログラムのおすすめポイント	普段よく目にするザ・ボディショップの商品を実際に使用し、ハンドトリートメントを通して、老人ホームのデイケアの利用者の方々とつながりを持つことが出来ます。また、本格的なハンドトリートメントの方法をマスターすることが出来ます。					
リーダーから参加学生にむけて一言！	本格的なハンドトリートメントをできるようになって、老人ホームのデイケアの利用者の方々に元気と癒やしを一緒に与えましょう！参加お待ちしております。					
実施日程・募集人数						
※参加回数 ※事前学習、学生顔合せを を除外	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月11日	水曜日	11人	1人	12人

プログラムNo.	61	プログラム概要				
受入先名称	株式会社セールスフォース・ドットコム					
プログラム名	IT企業だからできる社会貢献！？～丸の内のオフィスに訪問&昼食会&ボランティア活動に参加～					
活動の目標	明学生が1日社会に飛び出して、普段の学生生活では体験できないIT企業の社会貢献活動を知り、体験する					
内容	はじめに、丸の内のオフィスで、セールスフォース・ドットコムの社会貢献活動についてお話を伺います。丸の内で昼食をとった後、秋葉原に移動してセカンドハーベスト・ジャパンの食品梱包ボランティア活動にセールスフォース・ドットコムの社員の方々と一緒に参加します。その後簡単なアンケートの後現地解散となります。梱包された食品はセカンドハーベスト・ジャパンを通じて日本に住む難民やシングルマザーのご家族に届けられます。					
備考	(当日の持ち物、服装) ボランティアは結構体を動かすので、ヒールはNG、動きやすい服装持参。着替える場所の有無は確認して連絡します。 (昼食について) 昼食会となりますので各自1,000円程度の食費を持参をお願いします。 (参加の注意点)					
このプログラムのおすすめポイント	テクノロジーと社会貢献、IT企業とボランティアという一見関連のなさそうな分野がつながるんだ！という新たな学びと実際にセールスフォース・ドットコム社員の方と一緒にそのシステムを使っているセカンドハーベスト・ジャパンで食品梱包ボランティアに参加してみようという盛りだくさんのプログラムを1日で体験できる。なんて素敵なプログラムなんだろう！					
リーダーから参加学生にむけて一言！	お昼は丸の内1,000円ちょっとの昼食会もみなさんと一緒に充実したプログラムにできることを楽しみにしています！					
実施日程・募集人数						
※参加回数 ※事前学習、学生顔合せを を除外	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月18日	水曜日	5人	1人	6人

プログラムNo.	62	プログラム概要				
受入先名称	株式会社 横浜ビール					
プログラム名	ローカリゼーションへ～地元のビールを地元の食材と共に地元の方々へ～					
活動の目標	食における生産者の役割やレストランの果たすべき本来の姿について学び、考える。					
内容	横浜で唯一地ビールを製造している横浜ビール。この直営レストランでは地元農産物を取り入れお客様に料理を提供しています。当日は取引先である横浜地域の生産者(桃農園)を訪れて、現場の方の話を聴いて学び、ものづくりへの想いを学び止めます。その後、横浜日本丸の前に移動し、5つの企業のインターンシップ説明会に参加します。最後に横浜ビールに限り、社長からは「食」を通じて貢献している横浜ビールの魅力を様々な角度から伝えてもらい、皆で語り合います。 〔雨天時のプログラム内容〕雨天決行					
備考	〔当日の持ち物、服装〕 服装は自由(動きやすく汚れてもよい物)、筆記用具 〔昼食について〕 昼食代500円 〔参加の注意点〕					
このプログラムのおすすめポイント	ゼミで食について研究しており、自分たちが食べているものはどこから来たか、どうやって作られているかを日々考えています。現在地産地消は大事だと言われていますが、昔はそういう言葉もなく、当たり前に地元の素材を食べてきたはずなんです。地産地消というスタイルだけでなく、生産者と関わり、その想いをお客さんに伝えることによって目に見えない形でレストランがすべき本来の姿について考えられます。					
リーダーから参加学生にむけて一言！	企業は利益追求が最優先だと思っていたが、それだけではない横浜ビールに多くの魅力を感じました。太田社長の「ビールを通して、生きた街づくりに関わりたい」という熱い想いを知り心打たれました。自分の仕事を誇りと思えるような企業、地元の想いを大事にする横浜ビールでぜひ一緒に学びましょう。					
実施日程・募集人数						
※参加回数 ※事前学習、学生顔合せを を除外	全	1	回	募集人数	リーダー学生	参加学生数/合計
第1回	日程A	6月14日	土曜日	4人	1人	5人